

JA秋田ふるさとの 所得増大と生産拡大に向けた 取り組み

～give and take から take and give の関係へ～



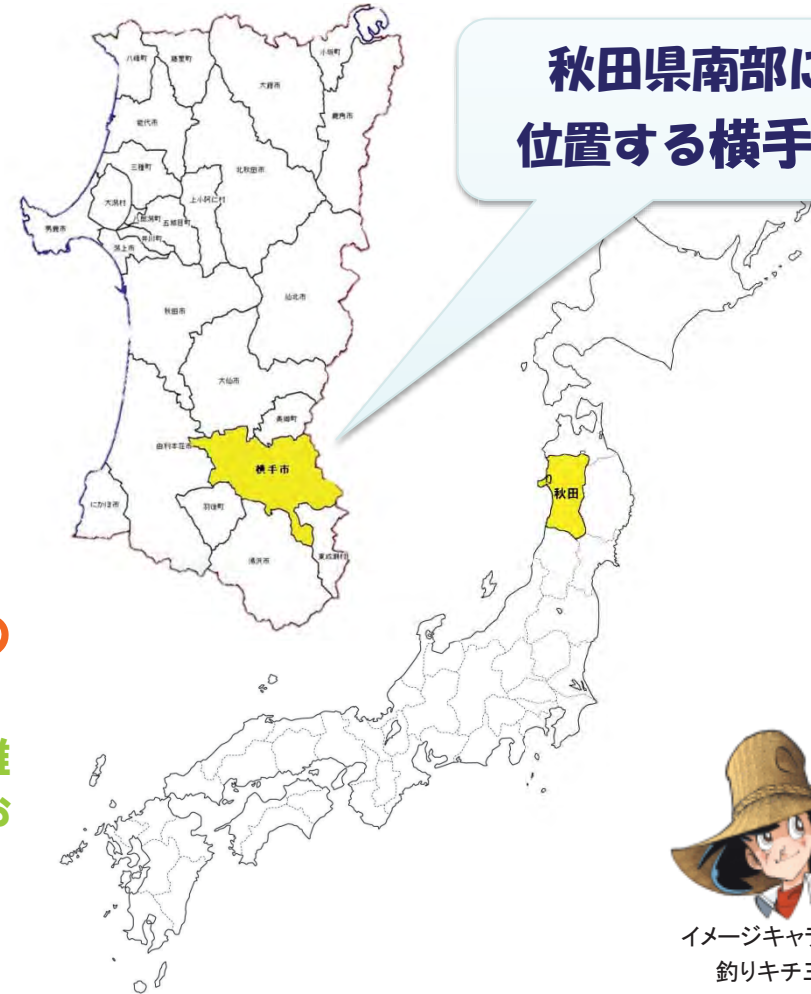
JA秋田ふるさと
代表理事組合長 小田嶋 契

JA秋田ふるさととの位置

2005年10月の市町村合併で、旧横手市と旧郡部がひとつとなったことにより、JA秋田ふるさと管内のほとんどが横手市となった。

地域の代表的なもの
横手の”かまくら”
横手焼きそば
納豆の発祥の地

● 全国では珍しい、果樹専門農協の平鹿果樹農協を加え、10JAが合併
【旧JA名】金沢、よこて、平鹿町、里見、大雄村、大森町、十文字町、増田町、平鹿果樹、おものがわ



イメージキャラクター
釣りキチ三平

組織概要

●組合員(平成31年3月末)

正組合員【個人】12,569人 (うち女性1,905人)【法人】62法人

准組合員【個人】4,411人 (うち女性1,377人)【団体】537団体

●役員

理事32人(内常勤4人)

監事 8人(内常勤1人、員外監事1人)



●職員(平成31年3月31日)

正職員 396人 臨時職員 123人

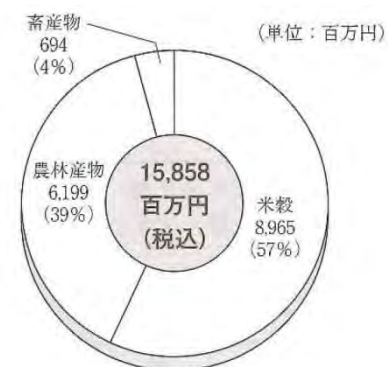


平成30年度JA秋田ふるさと事業の概要

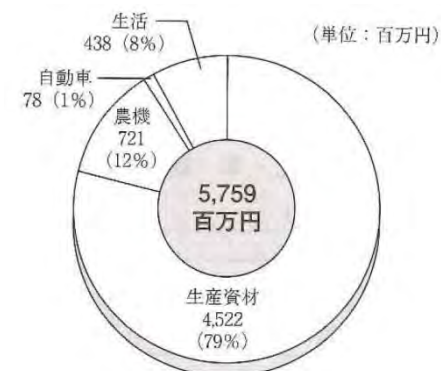
平成27年3月末実績

販売事業	農産物等販売高	19,061,309千円
	(うち米穀)	11,426,829千円
加工事業	加工品販売高	176,282千円
購買事業	生産資材供給高	6,024,663千円
	生活資材供給高	332,297千円
信用事業	貯金残高	101,534,020千円
	貸出金残高	32,215,515千円
共済事業	長期共済保有高	391,622百万円
	医療系共済保有高	98百万円
	介護共済保有高	1,373百万円
	年金共済保有高	1,191百万円
福祉事業	福祉事業取扱高	320,725千円

【販売品取扱高】



【購買品取扱高】



(第17回通常総代会資料より)

全国に誇れる複合産地に！

県内一の複合産地として、ハイレベルな技術・品質・規格を統一し、秋田ふるさと産ブランドの確立を図るなど、強力な販売戦略により「**全国に誇れる複合産地**」を目指しております！



JA秋田ふるさと経営理念

・ あってよかったJAを目指して。

貢献・・・JA事業が『在ってよかった』

信頼・・・あなたの笑顔に『会ってよかった』

改革・・・組合員・地域・JAの想いが『合ってよかった』

原点に立ち返って存在意義を見つめ直し、また農の営みを「競争」の20世紀から「共生」の21世紀時代と位置付け、恩恵を分かち合う共生と連携によってより豊かで安心して暮らせる農村社会を目指す。

営農経済涉外設置の背景と経緯

(1)背景

- ・大規模な支店統廃合、事業所の集約

【総合支店】

- ①金沢(金沢地区) ②横手(旧横手・山内)
- ③平鹿 ④雄物川 ⑤大雄 ⑥大森 ⑦十文字 ⑧増田



- ・農業法人を含む集落営農組織が数多く設立

☆農業法人	50組織
☆集落営農組織	45組織
☆認定農業者	1,261経営体

(平成31年3月末現在)



- ・販売額が1億円を超えるような農家の出現！！

担い手の事業ウェイトの拡大

(2)JA事業の実態(H26)

【販売品取扱高】

	販売高(穀類)	全体に占める比率	販売高(園芸・果樹・畜産)	全体に占める比率
法人・集落営農	1,486,557,042	21.1%	674,606,177	9.8%
個人担い手	2,393,866,681	34.0%	2,582,799,694	37.3%
担い手 合計	3,880,423,723	55.2%	3,257,405,871	47.1%
JA全体	7,030,852,554	-	6,916,850,281	-

【購買品取扱高】

	肥料	全体に占める比率	農薬	全体に占める比率
法人・集落営農	257,347,832	16.9%	164,531,751	12.7%
個人担い手	498,669,228	32.8%	351,596,573	27.1%
担い手 合計	756,017,060	49.7%	516,128,324	39.7%
JA全体	1,520,581,629	-	1,298,745,255	-

担い手対応強化の取り組み

(3)目的

- ・管内農家の実態把握
- ・担い手農家に対する情報収集

(4)経緯

- ・ H20年度果樹専用資材店舗閉鎖の対応策として果樹専任渉外担当者配置。
- ・ H21年度4名営農経済渉外担当者も配置し本店営農経済部所属に。

果樹専任渉外 → 職員

営農経済渉外 → 訪問活動を主眼に置いた人選
課題解決よりも話を聞ける人間



営農経済
部長が人選

- ・ H24年担い手支援室の新設に伴い、同室に所属。担い手支援渉外となる。
- ・ H26年担い手支援渉外(TAC) ⇒ 担い手支援渉外(FAST)に変更。

「TAC」から「ファスト」で即実践へ

F・・・ふるさとorファーマ **A**・・・アグリorアシスト **S**・・・サポートorスピード **T**・・・チームor対応

